

プリオン病治療薬

創薬・製剤

主たる提供特許

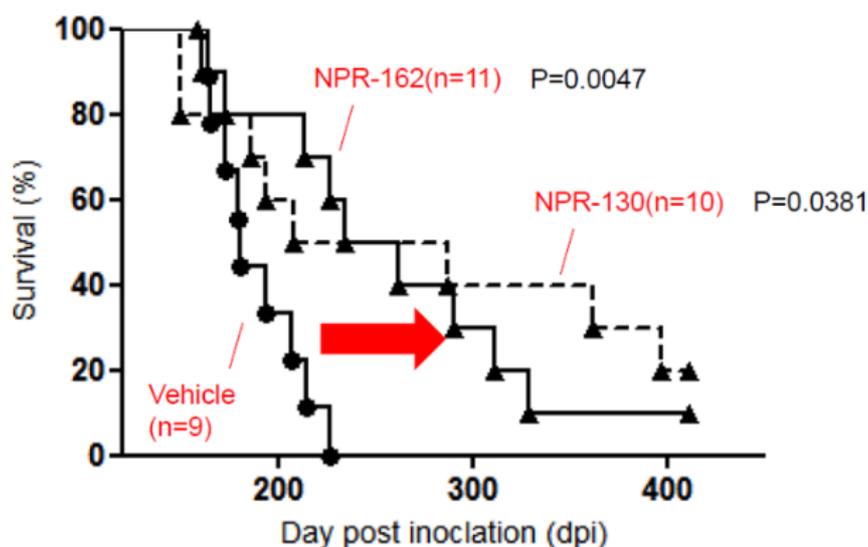
出願者	国立大学法人長崎大学
題名	プリオン病予防・治療剤
番号	特願2016-170349、特願2018-177224

異常型プリオンの増殖を抑制する低分子化合物

技術概要

発明の背景

- ・プリオン病は、正常型プリオンが異常型に変化し、脳内に蓄積することで発症すると考えられている。
- ・孤発型については1年間に100万人に1人程度の割合で発症すると考えられている。
- ・病因には遺伝性および医原性(感染性)もある。
- ・有効な治療法はなく、発症から数年で死亡する。予防薬、進行抑制薬もない。



発明概要

- ・異常型プリオンタンパクの増殖を抑制する化合物を同定した。
- ・プリオン病発症マウスに投与することで寿命延長効果を得た。

応用分野

実用化例

プリオン病あるいは異常型タンパクの増殖・蓄積による疾患の治療薬

実用化に向けた課題

詳細な生理活性及び安全性試験、将来的には臨床試験が必要。

企業へのメッセージ

- ・AMED事業等に共同で応募できる企業を探しています。